

*初冬と早春の青刈作物 寒さに強く高収量！ 雪印改良 青刈えんばく

●豊葉 (ハウヨウ)

葉の量多く、分けつ盛んな晩生系の多収品種。耐寒性も強く、秋まき品種として最高。病気に強く、生長点が低く再生力も良いので、2～3回刈も可能。

●雪印101号

伸長型で草丈高い。分けつ旺盛の晩生系の多収種。耐寒性はセブンオートについて強く、秋まき用品種。病気に強く、生葉数が多く、茎が細いため伸び過ぎると倒伏の恐れがあるので、早刈とする。

●太豊 (タイホウ)

葉茎が巨大で、草丈の高い中生種、耐寒性は前2品種に比べて、やや弱い。秋まき、春まき共に多収。充分に生育させて、1回刈で最高の収量を得る。

●セブンオート

草丈高いが強稈のため、倒伏しない。耐寒性はえんばく中最も強い。耐寒性もあり、えんばく秋まき限界地帯の秋まき青刈用。子実の生産も多いので、栄養価高い。



《雪印改良えんばく》は耐寒、耐病性が優れ常に多収です

品 種 名	播 種 期	収 穫 期	寒 害	病 害	倒 伏	生 草 収 穫							
						1.000	2.000	3.000	4.000	5.000	6.000	7.000	8.000キロ
前 進	41. 10. 20	42. 5. 9	多	多	無	[Bar chart showing yield up to approx. 6,000]							
岡 山 黒	"	"	"	中	中	[Bar chart showing yield up to approx. 5,000]							
豊 葉	"	"	少	少	少	[Bar chart showing yield up to approx. 7,500]							
雪 印 101	"	"	"	"	中	[Bar chart showing yield up to approx. 7,000]							
太 豊	"	"	中	中	少	[Bar chart showing yield up to approx. 7,500]							
セブンオート	"	"	少	少	無	[Bar chart showing yield up to approx. 7,500]							

青刈えんばくの栽培基準

(数量は10アール当り)

地 帯	播種期	播種量	播種法	施 肥 量					収 か く		摘 要
				基 肥			追 肥		利用時期	収 量	
				堆肥	石 灰	化学肥料(成分量)	時 期	肥料と量			
北陸地方 (新潟県の例)	8/中～ 9/上	10 キロ	散 播	2,000 キロ	キロ	N 4 P ₂ O ₅ 4 K ₂ O 6	節 間 伸 長 期	N …… 4 キロ	10/下～ 12/中	4～5 トン	
関東地方 (埼玉県の例)	10/中～ 11/上	6～8	60～75cm × 条 播	1,500	80	10 10 10			4/下～ 5/中	4～6	播種後PCP(水) 1k/10 ^a 又はCAT 50g/10 ^a 全面土壌処理
東海地方 (愛知県の例)	10/中～ 12	5	60×条播	3,000	100	10 10 10	12/上 3/上	N ……10 K ₂ O…10	12/上 4～5	2回刈 6～7	
近畿地方 (兵庫県の例)	8/下～ 11/下	5～6	60×条播	2,000	100	7 5 12	10/上～中 3/上～中	N ……10 K ₂ O…3	11/下～12/上 4/下～5/下	2～3回刈 5～7	早まきは年内刈取も できる。サイレージ は出穂期に刈取る。
九州地方 (宮崎県の例)	9/上～ 11/中	8	60×条播	1,200	75～ 90	10～ 20	11/中～下 刈 取 毎	N …… 5 K ₂ O…5	11/中～ 5/下	4～5回刈 5～6	